

第33回日本環境会議沖縄大会 第6分科会 宣言文
(沖縄語バージョン)

「国家安全保障」なじきてい、ウチナーとう韓国などう うふおーくぬ国や しま・うていや、平和、環境、人権ぬ うびや(脅)かさってい ちゃん。わったーや、「国家」ぬ「安全」ぬ ためー あらんどう、しま うてい 暮らちよーる ちゆぬ 安全や人権ぬ保障さりーる 「まくとう(真)ぬ安全保障」る むとう(求)み とーる。とうく(特)に、軍事化さーに しま(地域社会)んちゆ 分断し、環境破壊、人権侵害すし なかいや ちゅうじゅうく 反対すん。

まくとう(真)ぬ 安全保障実現しみーる たみ(為)にん、脱原発や温暖化対策ぬ たみにん 再生可能エネルギー利用 うし(押)進みてい、「国家」や あらん、しま(地域共同体)ぬ むい(森)や 海ぬ 資源管理制度ちくい(作り) のーち(直して)、環境教育ん しま(地域)うてい うし(押し)すす(進)みーん。また、しま(地域共同体)うてい 食料やエネルギーぬ生産力 たか(高)みてい、経済的どうーたち(自立)し、た(他)しま(外部)から あちかー(扱)ってい、さびち(差別)さららんどう、自己決定権 ちか(使)ゆーする ちゅーばー しま(共同体)ちく(作)やびら。

あんしから また、中国ぬ 華南地方から 香港、台湾、沖縄、朝鮮うてい発展し ちやる ふんしー(風水)文化圏 うてい ぬ 歴史的環境交流 あらたみてい うび(思) んじゃ(出)ち、とうく(特)に若むんぬ環境交流 うし(押)すす(進)みてい い(行)ちゆん。

あんしから、各しまぬ どうたー歴史、文化、くとうば てーしちにし、うたげーにむぬなれー し いちゆん。各政府や、くぬよーな教育ぬ なさりーる ぐとう 保障さんとー ならん。

あんしから、軍拡競争ぬたみぬ ちむえーんねーらん 公共事業や あらん、教育費とうか 社会保障費、ちゆ(ひと) すだていー(育)る じん(銭)じけー(使い)しーびちる やる。

ウチナーうていぬ しまぬ資源管理制度や、琉球王朝時代に ちくらったる 琉球列島ぬ なげーぬ 歴史 むつちようる歴史構築物 やぐとう、なまぬ自然とう資源管理制度 わかいる たみねー、歴史から ならてい、うぬ かんげー いりらんとー ならん。「琉球近代史」ゆー しらびてい、また、じー(土地)ぬ ちか(使)い方 ぬ ちくい んじゃちやる 「歴史的混成物」コモンズ(しまぬ共有地・入会地、地先海岸) んじーねー、しまから むい(森)や地先ぬ海ぬ所有権や管理権とうりあぎたる、琉球処分ぬとうち ぬ 自然「処分」ぬん ふく(含)みてい、なー ちゆけーん

かんげー のーさん とー ならん。

アジア、とうくに東アジアうてい 殺戮とう いくさ(戦)し、いくさぬ もーき(儲け)くあ(喰)てい あっちゆる「軍産学報共同体」(報やメディア)ぬ むんだに(エサ)かい さつてーならん。くんとーぬ複合体かい しかさつてい、とうない たんかーぬ 国々とう軍拡すーぶ(競争)すしやかん、環境分野ゆ はじみとし、とうないぬ国々ぬ ちゆぬちゃーとう たげーに力あーち いちゆしがる てーしちやる。

あんしから、日米安全保障条約体制から アジア うていぬ 多国間ぬ安全保障体制 かい うちゆ(移)てい んじ、あんしから、アジア共同体ちくゆる たみに はまいる とうち(時)ぬ ちょーん。

わったー人民 かいや どうーぬ くとう や どうー くるし きみ(決)ゆる 「自己決定権」ぬ あん。

とうくに、若むんかい や 現在 とう 未来 ゆたさる方向かい けー(変)いる 力ぬ あぐとう、うぬ くとう かんげーてい、アジア ぬ 若むんたー よー、うぬうぬ(各々) ぬ しまとう アジア ぬ 平和 ぬ たみに まんじゅーん はまらな。